

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AN303／文学講義 103 (Lectures on Literature 103)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	東ドイツの文化		
担当者名 (Instructor)	宮崎 麻子(MIYAZAKI ASAKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3800	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2021年度まで「文学講義 103(ドイツの思想論)」		

#### 授業の目標(Course Objectives)

「現実の」社会主義社会のひとつであった東ドイツの文化を学ぶことで、ドイツ語圏の文化史を成している多様な過去の蓄積の一端を理解する。

To develop an understanding of the diverse layers of German cultural history by learning about the GDR culture as that of a “real existing” socialist society.

#### 授業の内容(Course Contents)

ドイツ民主共和国(東ドイツ、1945-1990)と「その後」の文化について、とくに文学と映画を中心に学んでいく。

This course introduces the cultural history of the GDR and its “afterlife” with an emphasis on literature and film, but not limited to.

#### 授業計画(Course Schedule)

- ソ連占領地区から東ドイツ建国へ(1949)  
映画『僕たちは19歳だった』(コンラート・ヴォルフ監督、1968)
- 亡命知識人とその帰国  
アンナ・ゼーガース「死んだ少女たちの遠足」(短編小説、1943)
- 建国神話「反ファシズム」
- 社会主義建設と1953年6月17日事件  
ハイナー・ミュラー「ヴォロコラムスク幹線路Ⅲ」(戯曲、1986)
- ベルリンの壁建設(1961)  
クリスタ・ヴォルフ『引き裂かれた空』(1963、小説)
- ベルリンの壁と映画 映画『引き裂かれた空 Der geteilte Himmel』(コンラート・ヴォルフ監督、1964)
- 東ドイツの日常・家族  
映画『パウルとパウラの伝説』(ハイナー・カーロ監督、1973)
- 「現実の社会主義」1  
ザーラ・キルシュの詩「黒いコーヒー豆」(1968)
- 「現実の社会主義」2  
ビアマン追放事件(1976)
- 批判的文学と「異論派」?  
クリスタ・ヴォルフ『カッサンドラ』(長編小説、1983)
- ジェンダー規範  
「男らしさ」の変化
- シュタージ(国家保安省)  
映画『善き人のためのソナタ』(2006)、映画『東ベルリンから来た女』(2012)
- 非公式文化、ベルリンの壁崩壊
- 東ドイツ消滅後の「東ドイツ人」?

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業中に紹介する文学作品や歴史の文献(一部、抜粋を配布する予定)を読んでください。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%/毎回の授業に関するコメント送信(30%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

参考文献 (Readings)

1. 河合信晴、2020、『物語 東ドイツの歴史 分断国家の挑戦と挫折』、中公新書
2. トーマス・ブルスイヒ、浅井晶子(訳)、2002、『太陽通り ゾンネンアレー』、三修社
3. ジェニー・エルペンベック、浅井晶子(訳)、2021、『行く、行った、行ってしまった』、白水社
4. 河合節子、野口薫、山下公子(編)、2001、『ドイツ女性の歩み』、三修社

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)